

第一回物療校友会卒後教育部放射線部会

平成24年5月26日（土）

場所 物療大学2号館2階教室

参加者数：21名

《プログラム》

「教科書と実際」

奈良県立奈良病院 井森 優紀 先生

「骨折のよもやま話 / 今、技師に求められる人材」

森本病院 高岡 秀一 先生

「研究の仕方 / 大学病院に求められる人材」

近畿大学医学部附属病院 西 環 先生

「β線放出核種による放射線内容療法における従事者被ばくに関する検討

/ 私の考える技師の在り方」

近畿大学医学部附属病院 永元 啓介 先生

「グループ研究中間報告～研究内容の検討～」

技師歴1年目の先生方による発表

今年の新しい取り組みである「グループ研究」を始め、中堅の先生方や現場に携わり始めたばかりの先生の発表と盛りだくさんの内容でした。

新人の先生の発表では、「診療放射線技師」となって誰もが体験するであろう、学校で学んで来た事を実際の現場で「活かしきれていない自分」「力不足な今の自分」といった教科書とのギャップや新人が求めている教育方法を同期生にアンケートを実施し、発表してくれました。

先輩方の発表では臨床画像を交えながら、求められる人材について語っていただき患者さんために、勉強をし続けなければいけない職種であることを再認識することのできた勉強会でした。



卒後1年目 初発表～!!
井森氏



外科撮最前線
高岡氏



核医学の貴公子
永元氏

第二回物療校友会卒後教育部放射線部会

多種多様な理由により、勉強会を行えませんでした。